

フィッション・トラックニュースレター (FTNL) 第11号が、ようやく刊行できました。当初の予定より、出版がかなり遅れたことをお詫びします。

今号の編集は、以下のように行いました。

1. 論説1編と研究ノート1編については、複数の査読者による査読を行いました。査読担当者は
論説「野崎ほか」：雁沢好博・田上高広
研究ノート「角井・富樫」：長谷部徳子・渡辺公一郎でした。
査読をお引受けいただいた方々に改めてお礼申し上げます。
2. 講演要旨は、97年8月の研究会（年代夏の学校と共催）で発表された研究発表（本号12ページに一覧掲載）のうち、要旨掲載を希望した発表者のものを掲載しました。原稿は著者にphoto readyのものを作成していただき、編集委員会で誤字などの確認の後そのまま版下としました。したがってレイアウトなどに、やや統一性を欠く場合があります。
3. 編集委員会より御願ひして伊藤久敏さんと長谷部徳子さんに、それぞれイタリアとオーストラリアのFT研究室の紹介記事を御寄稿いただきました。また、長谷部徳子さんに97年の研究会（年代夏の学校と共催）のおりに出席者に御願ひした「試料調整に関するアンケート」の回答を長谷部さんに取りまとめていただきました。

昨号より編集規約を改正した件につきまして、97年10月に九州大学で開かれました研究会総会において編集委員会より会員の皆様に御説明するとともに、本誌の編集方針全般に関する意見交換を行いました。これに関しましては別途、研究会より会員アンケートが実施されることになっております。